



日銀ワークショップ資料

でんさいを活用したファイナンス (中小企業の資金調達円滑化へ向けて)

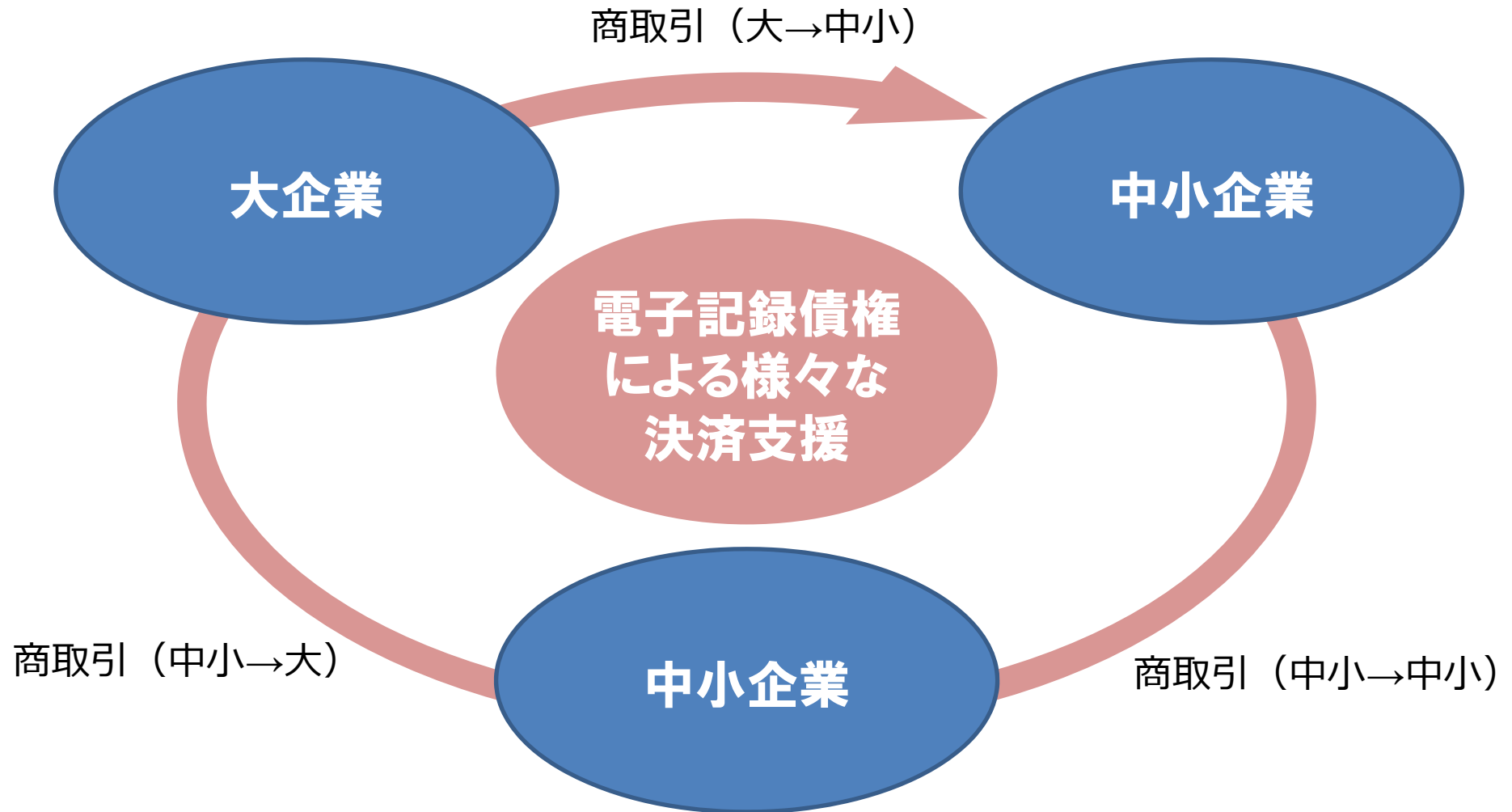
2013年 9月 4日

田中丸 修一

NECキャピタルソリューション・グループ

電子債権アクセプタンス株式会社

様々な企業間取引ステージでの活用可能性



でんさい(電子記録債権)に対する企業の認識

大企業

金融機関との連携による支払決済業務の合理化手段

**入金・支払方法追加による業務増加
事前リーガルチェックが必要
業務・システム検証が必要**

中小企業

**支払・受取手形の廃止による合理化
取引先に了解を取るのが面倒
目的がよく分からない
支払い不能処理が怖い**

でんさい(電子記録債権)受入のための事前確認

- **基本取引契約の修正 相殺要件など**
- **でんさいジャンプ要請対応方法**
- **廻しでんさいの取り扱いルール**
- **廻しでんさいの入金消し込み方法**
- **でんさいの追加保証取得方法**
- **支払い不能発生時の回収プロセス**
- **相殺取引による債権抹消処理方法**

取引の安全性・簡便性

電子記録債権の流動性

でんさいの活用ポイント

でんさい
の機能

- 安全な取引（権利の発生、移転等）を保障
- ITによる極めて簡便な記録手続き
- 反社会勢力を排除
- 支払い企業は金融機関の一定の与信審査済み
- 債権者請求方式
- 売掛債権の多様なリスクを排除

活用の方向

- 債権割引、A B L、サプライヤファイナンス
- ファクタリング、流動化
- 企業間信用によるでんさい支払決済
- リース会社等のベンダーファイナンス
- 資材調達 S C M決済手段

企業間信用に有効な特徴

電子記録
債権利用
企業

反社会勢力企業ではない。
一定の銀行信用を得ている。
期日支払い意思が確実。
一定のシステム対応力がある。

**取引先企業への企業信用の確保に有効な
情報を提供している！**

でんさいの普及は金融機関の融資機会を減少させるか？

共通認識（企業間信用取引の拡大）

でんさいの普及は金融機関の融資残高を減少させる。

一方で、

でんさい取扱金融機関は企業の取引情報を集積
でんさいの増加による割引需要増
債権の譲渡担保化が可能

でんさいの普及によって融資機会が増加する側面が大きい。

でんさい譲渡の簡便性について

- 債権者の譲渡記録申請によって直ちに成立する簡便性
- 配信された譲渡記録データの確認で即日点検可能
- 譲渡禁止特約がない
- 対抗要件の具備が不要
- 偽造・変造詐欺のリスクがない
- 二重譲渡のリスクがない
- 紛失のリスクがない（災害等による流失リスクもない）
- 入金口座が譲受人に変更される

債権者・債務者結託による融通でんさいリスクは残る。

ノンリコース譲渡で代表者個人保証を削減

日本再興戦略-Japan is BACK-(H25.6.14閣議決定)に「個人保証の見直し」が取り上げられた。

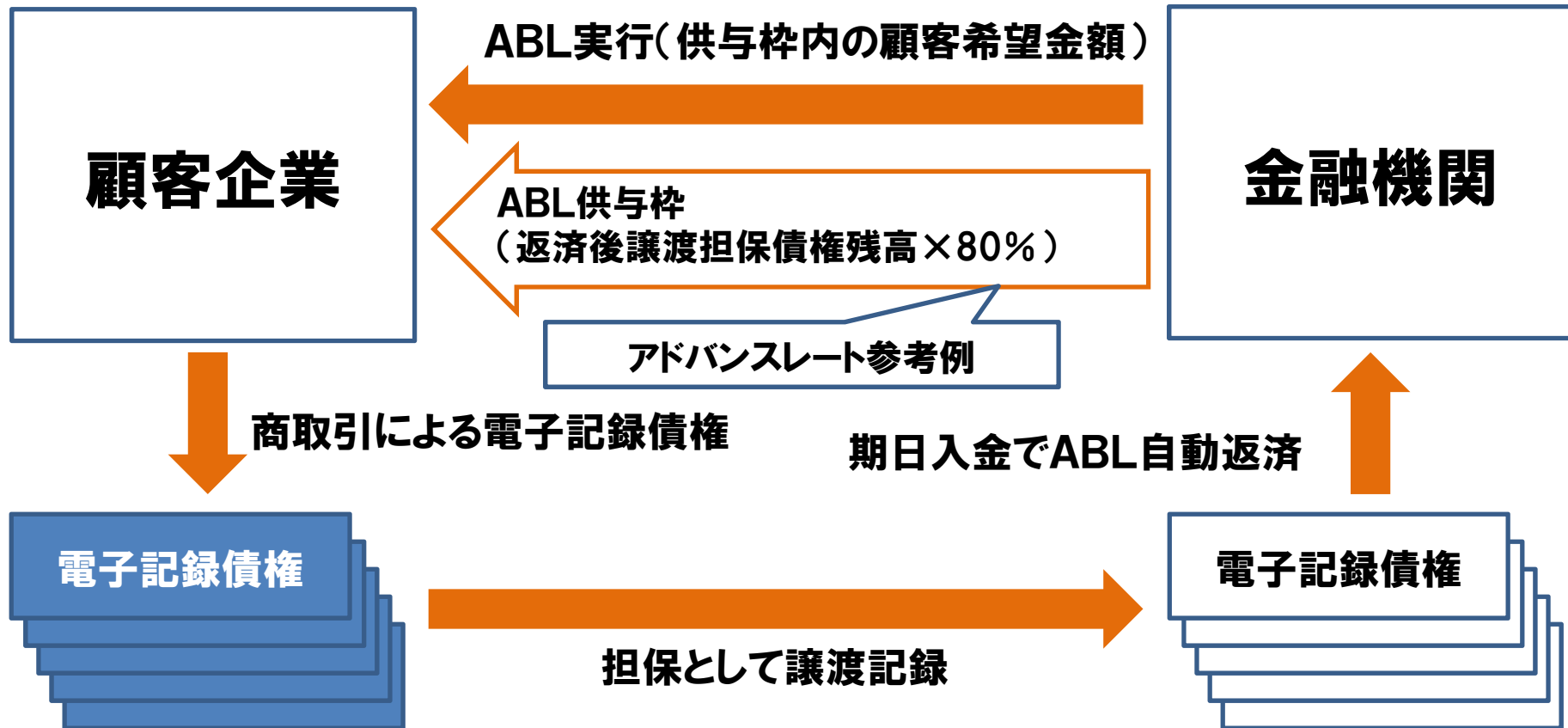
ノンリコース譲渡による**非融資資金調達支援**で代表者保証、第三者保証取引を削減できる。

- でんさい割引からノンリコース債権譲渡へ
- 融資取引から手数料取引へ
- 保証協会根保証取引から手数料取引へ

個人保証を削減して自行融資枠、保証協会保証枠を温存。経常運転資金融資から、より事業活性化に有効な増加運転資金、設備投資融資にシフト。

譲渡担保による米国型ABL

- 米国型ロックボックスによるキャッシュスイープ返済
- 集合的債権評価による広範な譲渡担保

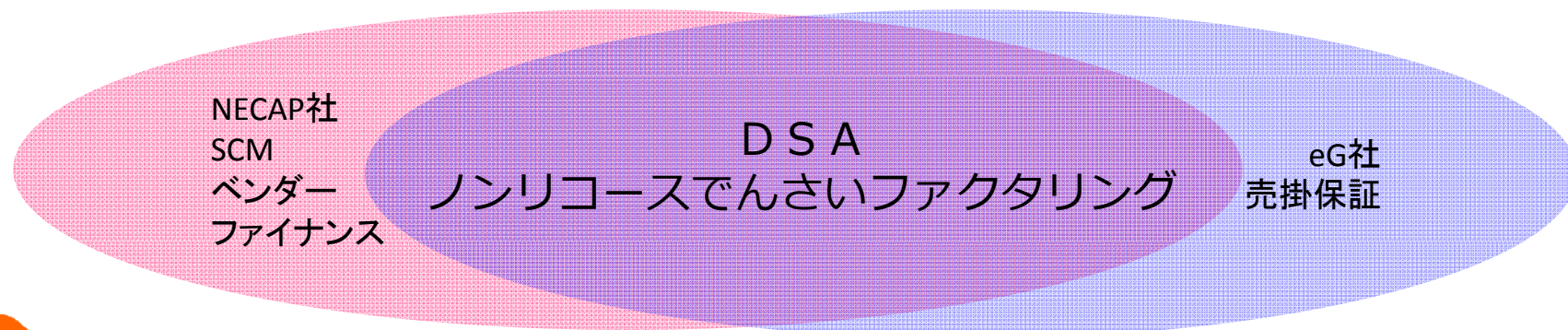


電子債権アクセプタンスの事業

ノンリコースによる「でんさい」の買取で、短期流動資産の現金化機能を提供しています。

特徴

- 金融機関連携(金融機関による有効活用が目的)
- 低コストサービス(NECキャピタルソリューションとイー・ギャランティの合併による相互機能の融合価値)
- 一般中小企業を債務者とするでんさいの買取が可能



DSAノンリコースファクタリングの効果

金融機関には不得手な分野

小規模かつ低コストで売掛資産（でんさい）の100%流動化（現金化）を実現

中小企業に低コストの資産流動化を提案可能
キャッシュフロー、B/Sの改善

様々な新しい金融事業機会

- 金融機関による各種の事業力アップ提案
- 事業規模拡大
- 最新設備の導入、切り替え
- 店舗の増設、統廃合
- 海外進出

売掛債権の電子化が成功へのカギ！

コストメリット以外の機能的有効性を追求。

- 反社会勢力の排除によるコンプラ強化
- 債権としての法的要件と安全性の強化
- 代表者による個人保証の削減
- ICTベースを活用したSCMにおける効率的決済手段
- 金融機関との経営情報連携強化

20兆円の手形代替市場から、50兆円を超える大規模決済インフラの創造。

企業の成長に寄与する様々な金融事業機会を創出。

電子債権アクセプタンス 会社概要

| | |
|---------|---|
| 商号 | : 電子債権アクセプタンス株式会社 |
| 本社所在地 | : 東京都港区芝五丁目29-11 (NEC住生ビル) |
| 電話番号 | : 03-5476-6975 |
| FAX番号 | : 03-5476-8950 |
| 創業日 | : 2012年4月18日 |
| 代表者 | : 代表取締役社長 田中丸 修一 |
| 資本金 | : 1億円 |
| 出資割合 | : NECキャピタルソリューション株式会社 66% イー・ギャランティ株式会社 34% |
| 事業内容 | : 電子記録債権の割引買取、ファクタリングおよび流動化事業 |
| 貸金業登録番号 | : 東京都知事(1)第31451号 |
| URL | : http://www.dsacceptance.com |



NECキャピタルソリューション・グループ

電子債権アクセプタンス株式会社

**東京都港区芝五丁目29-11(NEC住
生ビル)**

TEL: 03-5476-6975

URL: <http://www.dsacceptance.com>